



# Market Eyes No.237

## 米国中間選挙と株式市場の見通し

大和投資信託

### ■ 世論調査は、上院：共和、下院：民主が優勢

➤ 今年11月6日（現地）の米国中間選挙では、上院は100議席のうち35議席、下院は全435議席が改選対象となる。上院の改選対象のうち共和党議員の議席は9議席しかないため、今選挙で民主党が議席数を増やすのは困難であり、世論調査でも共和党優勢が伝えられている。【図表1】一方、下院は全議席が改選されることもあり、接戦が予想されている。世論調査ではわずかに民主党が優勢な展開となっている。

### ■ 株式市場は、上院：共和、下院：民主が望ましい

➤ 上院で共和党、下院で民主党が過半数を獲得するパターンが株式市場にとっては最も望ましいと思われる。【図表2】理由としては、いまだ具体的な進展がないインフラ投資が促進されること、年初から株式市場の重しとなっていたトランプ政権の外交政策が軟化することが期待されるからである。また、下院で民主党が過半数の議席を有することでトランプ大統領の弾劾決議が行なわれる可能性もあるが、弾劾成立には上院で3分の2以上の賛成が必要になるため、実際に弾劾される可能性は低いと考えられる。

➤ 次に可能性の高い上下両院で共和党が過半数を獲得するパターンでは、現在と状況は大きく変わらないだろう。むしろ、これまでのトランプ政権の政策が評価されたという解釈もできるため、保護主義政策が一段と先鋭化するリスクには注意が必要である。また、可能性は低いものの、上下両院で民主党が過半数を獲得した場合には政権が混乱すること、上院は民主党で下院は共和党が過半数を獲得した場合には政策運営が滞ることも考えられる。

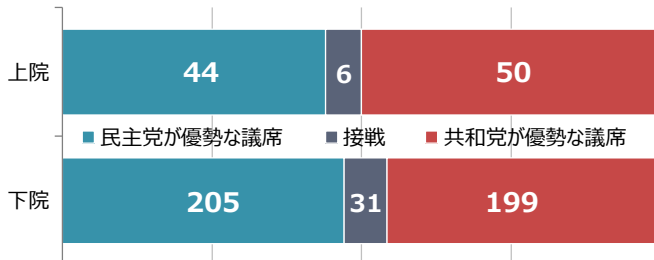
### ■ アノミーは選挙後の株高を示唆

➤ 2016年の大統領選挙が記憶に新しいように、選挙はふたを開けてみないと分からない。そのため、あらゆるシナリオを考えなければならず、不透明感の高まりが株式市場の重しとなりやすい。過去の経験則からも、中間選挙の年は10月頃まで株価が低迷しやすいという特徴がある。【図表3】しかし、中間選挙前後から年末にかけては株価が上昇しやすい傾向にある。さらに、中間選挙の翌年は特に株価の上昇率が高いというアノミーも見逃せない。これは、中間選挙を通過することによる不透明感の払拭に加え、大統領選に向けた景気支援策などが期待されるからだと言われている。

➤ 中間選挙の結果によっては、今後2年間のシナリオが変わってくるため注目度が高い。上院が共和党、下院が民主党という現時点で可能性の高いパターンが株式市場にとって最も望ましいと思われること、また、中間選挙後のアノミーを考えれば、今回も米国株の上昇が期待できそうだ。

【図表1】 米国中間選挙の世論調査

(2018年10月22日時点)



(出所) Real Clear Politics

【図表2】 米国中間選挙の結果別シナリオ

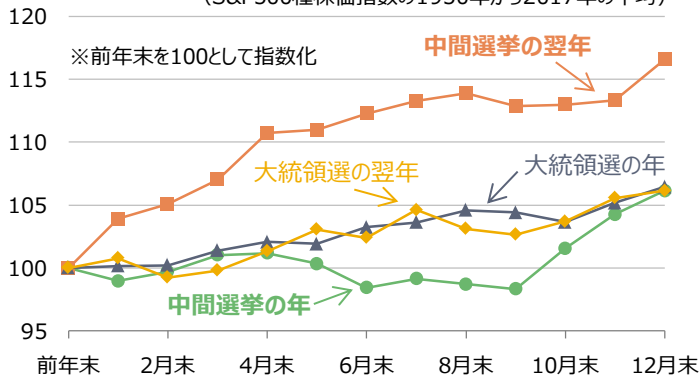
過半数獲得政党	考えられるシナリオ	可能性
上院：共和党 下院：民主党	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ投資の促進</li> <li>外交姿勢の軟化</li> <li>下院で弾劾決議（上院では同意不可）</li> </ul>	高
上院：共和党 下院：共和党	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護主義の先鋭化</li> <li>規制緩和の推進</li> <li>追加関税</li> <li>インフラ投資の頓挫</li> </ul>	中
上院：民主党 下院：民主党	<ul style="list-style-type: none"> <li>下院で弾劾決議</li> <li>共和党からもトランプ離れ</li> <li>インフラ投資の促進</li> </ul>	中
上院：民主党 下院：共和党	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済政策は停滞</li> <li>承認人事の遅れ</li> </ul>	低

※上記は資料作成時点の大和投資信託の見解であり、今後変更となる場合、また見解通りとならない場合があります。

(出所) 大和投資信託

【図表3】 米国株式市場のアノミー

(S&P500種株価指数の1950年から2017年の平均)



(出所) ブルームバーグの提供するデータを基に大和投資信託作成

# ❗ 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

## 注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的に ご負担 いただく 費用	購入時手数料	0~3.24%	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 <b>最大32,400円</b> をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 <b>最大5,000円</b> をご負担いただけます。
信託財産で 間接的に ご負担 いただく 費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 <b>最大1日あたり約70円</b> をご負担いただけます。
	その他の費用・ 手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和投資信託が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問い合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会